

# くろしお



かしこく  
なかよく  
たくましく

児童数 179名 TEL0996-75-0004 HP「脇本小」で検索  
キャッチフレーズ 「花とあいさつと読書の脇本小」 「歌声の響く脇本小」

## 「よく観察する力となぜそうなるのかを考える力を」

校長 宮下 正信

脇本小学校が独立校として創立した一八七八年、二人の兄と共に石油会社を設立したアルフレッドは、十年後、兄の死を自分と誤報した新聞記事に驚きました。「死の商人、死す。」生涯に三百五十もの特許を取得し、その最も有名な発明から「ダイナマイト王」と呼ばれたアルフレッド・ベルンハルド・ノーベル氏。強力な爆発物の発明は岩盤掘削や土木工事に革命を起こし、その技術を飛躍的に進化させました。同時に、兵器産業を進展させ、「最短時間で多くを殺害する方法を発見、富を築いた人物」との評を戴くことになったノーベル氏は、やがてほぼ全ての財産を、国籍に関係なく人類のために最大の貢献をした人々を顕彰する賞の創設に当てる遺言を残します。

今年のノーベル化学賞に、アメリカの大学の二人の研究者と共に旭化成株式会社の名誉フェロー(特別研究員)、吉野彰博士が選ばれました。小型で大容量のリチウムイオン二次電池(充電式電池)の開発で、ノートパソコン、スマートフォンといったIT時代を支える電源から、電気自動車や電車、航空機、人工衛星の電源などへの幅広い採用で、人類の生活は大きく変わりました。今後は太陽光や風力、水力といった自然エネルギー由来の蓄電が可能となり、環境問題解決にも貢献することが期待されています。受賞の報を受けた記者会見で博士は、「自然科学の分野で人類が解明したのは全体の2%あるだろうか。」と開拓精神をもつ後続を促し、若い世代が身に付けるべき力として「観察力」と「洞察力」を挙げています。

「観察とは、例えば実験でこうなったと理解すること。洞察とは、どういう過程でそうなったか考えること。現代はネット社会だからこそ、情報の中身への洞察力を身に付けてほしい。」



と、例を挙げて持論を展開、若者への期待を語りました。脇本小学校の理科室で展開される授業も、標本や顕微鏡、カメラやパソコンなども用い、ある事象について調べる方法や実験道具をグループごとに選び、予測したうえで比較しながら実験、真理を追究しています。目を輝かせて観察や実験に夢中になっている子供たちの中からやがて、大学や企業で研究を積み重ね、物理学や化学、医学、生理学などで人類の進歩に大きく貢献する真理の発見や発明をする人が現れるかもしれません。



## みんなで走った！踊った！運動会

晴天に恵まれた10月6日(日)、第74回運動会を開催しました。多くの保護者や地域の方々のご声援をいただきながら、日頃の授業の成果を発表しました。66名の50歳組の方々にも参加していただき、運動会に花を添えていただきました。ありがとうございました。



## ありがとうございました シルバー人材センターより雑巾をいただきました

10月16日シルバー人材センターから4名来校され、ぞうきんを寄贈していただきました。特別教室等の作業等、有効に活用していきます。ありがとうございました。



- 1日(木) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間～7日
- 5日(火) フリー参観日、「トトロのへや」人形劇、PTA教育講演会、給食試食会、学校関係者評価委員会)スクールカウンセラー来校読書まつり(～15日)
- 9日(土) 学習発表会
- 18日(月) 「脇本っ子見届け強調週間」(～24日) 2学期学校評価週間(～22日)
- 25日(月) 教育相談週間(～12月6日)
- 27日(水) 食に関する指導(3・4年)
- 28日(木) 食に関する指導(1・2年)
- 29日(金) 第68回市小・中・高等学校合同音楽会 食に関する指導(5・6年)

行事